

科目コード			開講期	後期
専修	社会学			
講義別	特殊講義		毎週時間	2
担当者 (職名・氏名)	教育学研究 科・教授	岩井八郎	単 位	2
			曜 時 限	金・3
			教 室	教育第二講義室
題 目	社会調査における多変量解析の利用 (社会調査士資格取得認定科目 E)			
授業計画と 内容	<p>量的な社会調査データの分析で用いる基礎的な多変量解析法について、考え方とその利用方法について学習する。3変数の関係について、3次元のクロス表と2元配置の分散分析を理解することからスタートし、重回帰分析と一般線形モデルが利用できるように説明する予定。また既存の調査データの分析によって、レポートを作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会調査データの多様性と分析手法 2. 3変数の関係の分析(1): 3次元のクロス表 3. 3変数の関係の分析(2): 分散分析の考え方(1次元と2次元) 4. 3変数の関係の分析(3): 交互作用について 5. 調査データの分析実習(1): 3次元のクロス表と2元配置の分散分析 6. 重回帰分析の考え方 7. 重回帰分析の利用(1): 研究例 8. 重回帰分析の利用(2): ダミー変数の利用 9. 調査データの分析実習(2): 重回帰分析 10. 一般線形モデルの考え方: 分散分析と重回帰分析の関係 11. 一般線形モデルの利用: 研究例 12. 主成分分析と因子分析の考え方 13. 主成分分析と因子分析の利用: 研究例 14. 調査データの分析実習(3): 一般線形モデル 15. 分析モデルとレポートの作成について 			
テキスト・ 参考文献	授業中に指示する			
成績評価 方法・備考	出席 + 中間の課題 + 最終のレポート			